



日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

96.1.14 No. 4530

さあ、97年即い開始! 川動労千葉団結旗開き

動労千葉の九七年の闘いの開始を告げる、一・一一団結旗開きが、千葉県労働者福祉センターにおいて開催され、組合員・家族、OB会、そして多数の来賓の方々も含め、会場を埋め尽くす二〇〇名の結集で大成功をかちとりました。

第一部・第二部を通じて、来賓として出席をいただいた、千葉労組会議・広田事務局次長、三里塚芝山連合空港反対同盟・北原事務局長、動労千葉顧問弁護団・葉山弁護士、千葉県水道労組・半沢委員長、足立まち子成田市議会議員、都政を革新する会、沖縄青年委員会、動労連帯高崎・動労水戸の仲間、動労千葉議員団、OB会、家族会をはじめ多くの方々よりあいさつをいただきました。(中野委員長の年頭あいさつ要旨は別掲)

各支部代表あいさつでは、新支部長を代表して、千葉転の小倉支部長、決戦の貨物支部から基地統廃合攻撃と闘う佐倉支部の宮内支部長から力強い決意表明がありました。

鏡開き、カンパイのあと恒例となった「各支部対抗カラオケ大会」には、反対同盟の北原事務局長も自慢のノドを披露。そして、「お年玉抽選会」をはじめ、会場の各所で歓談の輪ができ、この間の闘いに自信と確信をもった組合員の晴れ晴れとした笑顔、明るく和やかな雰囲気の中、勇気凛々、疾風怒濤の九七年の闘いへの出発の日にあふ



わしい旗開きとなりました。

〈概電・メッセージ〉

- ・全電通千葉県支部
- ・全通千葉地区本部
- ・全日通千葉支部
- ・国労小倉闘争団日豊オルグ班
- ・動労西日本北陸支部
- ・全金本山労働組合
- ・スタンダード・ヴァキウム石油自主労組
- ・全国一般富山・北陸リコー支部
- ・北陸労働組合交流センター
- ・長崎県労組交流センター



熱唱のカラオケ大会

九七年の冒頭にあたり一言ごあいさつを申し上げます。

九五年一二月の勝浦運転区廃止反対の七二時間のストライキ以降、恒常的ストライキ体制を組んで精一杯、闘いを進めてきました。九六年は、はつきりと手応えの感じた年だったと思います。

九七年は、明治維新、あるいは終戦直後だとか、大きな歴史的転換点をなす年です。戦後五一年、日本のあらゆる仕組みが完全に行詰まりを示して、これを支配権力の側から大きく変えてくる、この反動的攻勢に対して我々は、第三次安保・沖縄闘争の爆発と国鉄闘争の勝利をもって対抗していかねければならない。

具体的には、動労千葉や国労に対する組織解体攻撃、これとを基本にすえながら、一方でおそいかかってくる、佐倉機関区廃止を始めとした大変な合理化攻撃と闘うこと―三月いっばいで、ちょうど分割・民営化からまる一〇年を向えるわけですから、この一〇年にふさわしい闘いを展開しなくては行けない。

今日の旗開きを、決戦局面を迎えた国鉄闘争、第三次安保・沖縄闘争を実現する、全国にはばたく新年の幕開けにふさわしいものとして成功させ、勇気凛々、明日からの闘いにつき進んでいくことを心からお願ひして年頭のあいさついたします。



参議院議員 赤桐 操